

上昇を達成しています。

では、なぜ日本だけ30年もの間、減少しているのでしょうか。近年、少子高齢化により労働生産性が下がり、そのため全体的にみても家計の所得が増えないと総需要の半分以上を占める個人消費は増えず、デフレ・スパイラルから脱却することはできていないのが現状です。

それに対し政府は対策を怠り、経済が衰退し、我々の生活が疲弊しているというのが明白となっています。

また、大企業が利益を上げて内部留保を抱え、その子会社やそれに関連する中小企業へはお金が下りてきません。そのため近年、政府が経営者に賃上げを要請する、いわゆる官製春闘と呼ばれるものが横行しました。しかし、政府が介入した官製春闘は結局、既得権益や利権に埋もれてしまい目的を果たせていません。

だからこそ産業別労働組合の果たす役割は重要であり、日本の経済を変える運動を巻き起こさなくてはなりません。

春闘決起集会に結集を！

全港湾大阪支部は、我々の生活を守るため、大幅賃上げを本気で勝ち取るべく、団結して組織的なたたかいを展開しなければなりません。

2023年3月5日（日）大正内港にて、大阪支部春闘決起集会を開催します。全組合員の団結力を結集して、23春闘完全勝利を達成しましょう。

2023元旦行動

2023年1月1日10時から大阪府警前でおこなわれた「元旦行動」に大阪支部より10名が参加しました。

2019年から始まった元旦行動も今年で5年目を迎えました。当初の参加者は100名にも及ばない人数でスタートした集也会も5年目を迎えた今年は460名にまで膨れ上がり、労働組合弾圧に対する世間の関心が高まってきているのを実感しました。



主催者あいさつでは「反弾圧実行委員会・大阪」の代表を務める小林委員長より「全日建連帯関西支部に対する弾圧を他人事とせず、労働組合全体の問題とし、完全勝利するために更なる団結を」呼び



かけていました。

私は、3年目の参加となり反弾圧実行委員として様々な集会や学習会を経験し、労働組合弾圧に対

し知識を深めてきました。今年は、この経験を活かし、学習会などの場で皆さんと知識を共有し、団結していきたいと思います。共に頑張りましょう。

(執行部 佐久原 智彦)

支部新春旗開き



1月6日17時30分より第1センターで新春旗開きがおこなわれました。101名（来賓含む）が参加のなか2時間、来賓あいさつや共闘関係あいさつ、歓談、最後には恒例のビンゴゲームをおこないました。

私は文化厚生部の担当を3年間させてもらっています。21年新春旗開きのようにコロナ感染拡大の影響で通常開催できない時もありました。

今年は新型コロナウイルス感染増加傾向のなかでの開催とはなりましたが、新型コロナウイルス感染対策をお

こない、たくさんの参加者のおかげで素晴らしい旗開きができたと思います。



今回、参加された方、参加者を送り出して頂いた分会の皆様ご協力ありがとうございました。

(執行部 佐久原 智彦)

集会案内

2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻して早や1年を迎えます。この侵攻は他国領土に攻撃を行う明確な侵略であり、国連憲章の武力行使禁止、領土保全や紛争の平和的解決の原則に対する重大な違反です。大ロシア主義に立ち勢力圏を拡大する目的で、戦後国際秩序を根底から破壊する暴挙は決して許されません。さらに10月には、東部のルガンスク・ドネツク、南部のサボロジエ・ヘルソンの4州を、違法な手段を用いて「住民投票」を実施のうえ

併合しました。これら侵略や併合に対し、国連において圧倒的多数で非難決議があげられています。

私たちは、全世界の市民の反戦平和の声と固く連帯して、ロシア政府に対しロシアのウクライナからの即時停戦、完全撤退を求めます。私たちはこの意思を表明するために、次のとおり抗議行動・デモを実施します。

日時：2月24日 18：30～19：00
場所：中之島公園女性像前 19：10～デモ出発
主催：しないさせない戦争協力関西ネットワーク
協賛：大阪総がかり行動実行委員会

分散会 A班 主な意見

- 定年延長は人出不足もあり取り組むが、身体機能の低下等もあり、各個人で「選択」できればいい。
- 現場の作業を固定せず、キツイ現場などはローテーションできめ細やかな対応をすれば若手もやりやすい。
- 組織拡大としてSNSを活用し全港湾をアピールする。
- 大阪支部として、宣伝・組織拡大に特化した広報部を作ってはどうか。
- 労働組合についての一般の理解が低いと思うので、今後携わると思われる港湾学校等に、告知・宣伝活動をすればどうか。
- 興味ある集会にするなど定例化した集会以外で参加率を増やす取り組みを考える。
- メーデーや各集会以外で大阪支部をアピールする。
- 組合員に女性が少ないが女性へのオルグも増やし、集会やピラ配布など参加率を増やす。

分散会 B班 主な意見

- 定年延長はまだ先なので実感はないが、年金受給年齢を考えると仕方ないと思う。
- 定年延長まで体力が続くのか不安になる。なので後補充はしていかなければいけない。
- ドライバーも若手が不足している。「3K」の職場、後補充が困難で制度政策が急務だと思う。
- 組織減少で拡大しなければ10年後、大阪支部は生き残るだろうか、そのために拡大を重要課題としてなによりも優先にするべき。
- ピラ配りで実際に効果があるのか、他の方法も模索すべき。
- ホームページなど若手はHPを見ない。YouTubeやTikTokを活用し、広報すればいいと思う。
- 組合員の減少をどれだけ危機意識をもっていかないと止むめできない。
- 分会どうして共有し人材不足問題を解消する場もあればいいと思う。

分散会 C班 主な意見

- 年金受給年齢が世代によって違うので、すぐに定年延長65才と決めるのは反発が出ないか。
- 体力ある人はいいが、人によって違うのでその人に見合った働きやすい環境を要求していく必要。
- 定年は60才。その後雇用延長で体力に応じた職務で対応できている。
- 65才定年延長は協定済み。65才以降はアルバイトで雇用としてたが課題が多く65才定年で終わる不安。
- 会社と誠実な交渉がまだに行われていない。労働委員会命令でも会社は対応しないので正常化にして労働者の不満を少しでも解消に向けて頑張っている。
- 厚生年金受給年齢に応じた定年延長を協定化している。後補充については人がいない。(複数回答)
- 定年延長されるが60才以降の賃金は60%～70%と減額案が会社から出ている。交渉していく。
- 年金受給に応じた雇いで賃金80%協定。後補充はできていない。人がいない。

分散会のまとめ意見

近年、個人事情で退職、脱退していく労働者が増えている。後補充もしているが組織人数は減少している。その中でも組合員が増えている分会もあり、職種や職場によって課題は多い。地道な活動は必要だが、若い人に関心をもたせる取り組みは重要だ。分散会後の意見交換で、数名から「今回の分散会はいろんな意見が出て参考になり、よかった」と報告があった。参加者からの意見に対して、応えていくのが大阪支部である。課題は多いが、執行部が責任をもって対応し、組織拡大、強化として学習会などを増やし意識改革を図っていく。

(副委員長 陣内)